

2025.5



かみのくに

エノヤマツツジ(町花)

第217号 議会だより



主な内容

新年度予算決まる
3月定例会で決まったこと

一般会計補正予算など	2P~3P
ここが聞きたい一般質問に7人が登壇	4P~13P
予算審査特別委員会の主な質疑	14P~16P
委員会活動 (議会広報発行に関することなど)	17P~18P
議会の動き	18P

上ノ国小学校 入学式

第1回 定例会

令和7年度予算を決定！！

一般会計 72億9,998万円

各 特 別 会 計 含 む 予 算 総 額 96億2,271万円

第1回定例会は、3月4日から6日までの3日間、開催されました。

町長から提案された案件は、令和6年度各会計補正予算をはじめ、条例の制定及び一部改正など30件が、いずれも原案のとおり可決されました。

※「令和7年度各会計予算額と予算審査の主な質疑」は14ページから16ページに掲載

審議して決まつた」と

■町職員の給与に関する条例の改正

令和6年人事院の勧告等により、本年4月1日に施行される国家公務員の人事管理及び給与改正に基づいた改正措置を本町でも実施するため、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

令和6年人事院の勧告等により、本年4月1日に施行される国家公務員の人事管理及び給与改正に基づいた改正措置を本町でも実施するため、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

専 決 処 分

■犯罪被害者等支援条例の制定

地区集会施設を地域住民の研修や交流等の活性化を図るための拠点施設として位置づけするため、その設置及び管理に追加し、予算総額は67億3921万3千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

■付属機関に関する条例の改正

文化財ミュージアムの建設に伴う事業内容を審議する町民や学識経験者で構成する「上ノ国町文化財ミュージアム建設委員会」を町の付属機関に位置づけするため、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■小砂子地区集会施設設置条例の制定

犯罪被害者等の支援について、地域社会全体で取り組み、住民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与するため、犯罪被害者等基本法に基づき、条例を制定するものです。

〈全員賛成で可決〉

■町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の改正

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、栄養士法が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■国民健康保険条例の改正

令和7年3月10日に改修工事が完成する小砂子

石崎歯科診療所の廃止に伴い国民健康保険に関する協議会の委員の定数

■令和6年度一般会計補正予算

町道除排雪業務委託料など9453万7千円を追加し、予算総額は67億3921万3千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

令和6年人事院の勧告等により、本年4月1日に施行される国家公務員の人事管理及び給与改正に基づいた改正措置を本町でも実施するため、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

を変更する必要があるため、条例を改正するものです。

〈全員賛成で可決〉

■簡易水道事業に係る布

技術管理者に関する条例の改正

水道法施行令が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。

■合併処理浄化槽の管理等に関する条例の改正
町が整備する合併処理浄化槽の設置に伴い、各家庭等が行う水洗便所等の改造補助に関する特定期間との整合性を図るため、条例を改正するものです。

■議会の個人情報の保護に関する条例の改正

○指定期間
令和7年

令和10年3月31日まで

町道沿線の発展、忍耐

中華書局影印

通所型サービス事業業務委託料など136万8千円を減額し、予算総額は8億1873万円とな
りました。

固定資産除去費など44万5千円を追加し、予算総額は2億7766万7千円となりました。

は、中崎団地建替事業の工事区域内に位置し、この及び中崎団地

◆後期高齢者医療

◆後期高齢者医療
保険料負担金など38
6万8千円を減額し、予
算総額は8979万3千
円となりました。

その他の

■地域活動支援センター

◆簡易水道

• 收益的支出

材料費など721万円

公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する基準

を減額し、予算総額は1

億9159万8千円とな

りました。

• 資本的支出

排水施設整備費など

22万4千円を減額し、

予算総額は1億5411

万3千円となりました。

〈全員賛成で可決〉

ここが聞きた

いっぱん質問

されています。
定住や関係人口を拡大させる多様なライフスタイルに応えることで、地域活性化、地方創生及び関係人口の拡大や移住にも繋がる二地域居住等の取り組みを早急に実施すべきと考えますが、町長の所見を伺います。

本町における将来の人口は、30年後の令和32年には1639人となり、「消滅する恐れのあるまちの一つである」と発表されています。



なかざわ よしひこ
仲澤 嘉彦 議員

人口減少の抑制や移住・定住促進といった課題の解決につなげたい

一地域居住等の取り組みと促進について

▼仲澤義彥議員

少の抑制や移住・定住促進といった課題の解決につなげていきたい。

本町においても、国の制度を活用し、拠点生活を視野に入れた空き家対策を進めているところであります。最終的には人口減

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機にリモートワークが普及し、二拠点生活への関心が高まっていますが、拠点とな



こまひとし 均議員

本町には、風力発電施設が多数設置されており、再生エネルギーの一つとして期待されている一方で、小型風力の乱立が目立ち、放置風車も見受けられるところから、騒音や景観などにも影響を与えるのではないかと住民から心配する意見もあ

本町には、
風力発電施
質問

こまち
小間 ひとし
均

運営事業者に適切

町内に設置されている

風力発電施設などについて

答
井
近隣町の中には、小型風力発電施設の乱立や放置を防ぐためにガイドラインを策定している自治体もありますが、法的拘束力がなく悪質な事業者に対しても規制を行うこと

のような問題・課題があるか認識し、早急な対応が必要であると思うが、具体的な取り組みをしているのか、伺います。



たと思うが、これから地域促進にも力を入れていくと理解してよいのか。

これからは、GXに絡めた移住定住にも力を入れていきたい。

本的な対策を講じること
は困難ですが、風車が長
期間放置されることのな
いよう、運営事業者に適
切な維持管理を求めてい
くことが重要だと考えて

います。そのため、償却
資産の申告がない運営事
業者に対しては、面会を
求めるなどの措置を講
じ、対応します。

旧滝沢小学校の利用方針について

▼小間均議員

施設の閉鎖に向けた検討を進める

質問

旧滝沢小学校は、一部
利用が許可されているも
の、利用に対する要望
には応じてもらえない実
態にあります。

当該施設は、正面入口
付近でコンクリートが剥
離し、維持管理などをし
ている様子も見受けられ
ているのか、地区住民に
あるのであっても良
いのではないか。

答弁

町内会からの利用に対
して個別に対応しながら
維持管理を行つてたが、
塩害による鉄筋の腐食が
進行したため、コンクリ
ートの剥離などの問題が
発生し、管理が非常に厳
しい状況にあり、利活用
を進めるには多額の改修
費用が必要となるため、
施設の閉鎖に向けた検討
を進めていく考えです
が、取り壊しにも多額の
費用がかかるため慎重に
検討している。

▼工藤町長

洋上風力発電について

▼福原 賢孝 議員

技術者を養成する トレーニングセンターの誘致を進めたい

▼工藤町長



ふくはら 賢孝 議員

て質問します。

①基地港湾は、風車の羽
根の組立てなどをを行う場
所になり、部品受注とい
った経済効果も期待でき
ますが、檜山沖海域での
洋上風力発電事業の基地
港湾に関する見解を伺
います。

②地域振興については、
8町の副町長及び担当課
長並びに協議会事務局で
構成される地域検討部会
において、次回の法定協
議会に向けて検討が行わ
れています。また、漁業
振興については、ひやま
やま漁協を中心に、地域
振興については各自治体
を中心と作業チームを作
り、各議論が進められて
いるのか。

③本格稼働となれば、設
置工事や港湾整備、風車
点検などに不可欠なメン
テナンス技術者の養成が
急務と思いますが、見解
を伺います。

再生可能エネルギーの一
切り札とされる洋上風力
発電は、檜山沖を含む有
望区域で2030年代に
も本格的に稼働すること
が見込まれ、5海域での
合計総出力は、最大38
5万キロワット規模、総
事業費は3兆9千億円に
上り、運転管理や保守点
検をはじめ、設置工事や
港湾整備などの業務には
道内企業に参入の余地が
あるとみていくとのこと
であります、次について

を伺います。

③本格稼働により、風車
の運転後の管理や保守点
検など、多岐にわたる業
務が発生し、新たな雇用
の場が創出されますが、
全国的にメンテナンス技
術者が不足しているた

め、その養成が急務であり、技術者の養成が可能となるようトレーニングセンターの誘致を進めます。

再質問

コスト面の上昇が大きな壁となり、洋上風力発電は採算が合わないとして、世界中で撤退が相次ぐとの報道もしばしば目に付くようになってきていますが、見解を伺います。

谷口政策推進室長

な壁となり、洋上風力発電は採算が合わないとして、世界中で撤退が相次ぐとの報道もしばしば目に付くようになってきていますが、見解を伺います。

再々質問

旭川市に北拓という、メンテナンス技術者を養成する施設があり、施設を誘致したいとのことで、参考にすべきと考えるがいかがか。

谷口政策推進室長

メンテナンスでは、北拓が全国でシェア8割くらいを占める企業で、メンテナンス事業者を誘

致する選定の中にも、目を付けている部分がありますが、資格を取得する生ずる可能性があると示されていますが、今後トレーニングマップ作成に伴う必要経費を新年度含めて、今後検討したい。

北電の陸上風力発電計画について

▼福原 賢孝 議員

影響が懸念される箇所への建設の可能性は低い

▼工藤町長

建設の可能性は低い

実証を含めたデマンドバスの運行を開始できるよう準備を進めている

▼工藤町長

①北電が町内宮越・湯ノ岱地区に最大出力18万3千キロワットの陸上風力発電所事業計画を明らかにし、2028年10月に着工し2032年の運転開始予定とのことでありますが、町との協議はどのようにになっているのか。

②環境影響評価で宮越・湯ノ岱地区の住民に騒音やシャドーフリックカーなどの影響はないのか。

③昨年12月定例会での質問に答弁

よると、騒音やシャドーフリックカーなどの影響が生じていますが、今後の配置計画を見直され、影響が懸念される箇所への建設の可能性は低いものと推測されます。

所への建設の可能性は低いものと推測されます。
③ゾーニングマップ作成に伴う必要経費を新年度予算案に計上。財源は環境省の補助事業の活用を見込んでいます。

新しい上ノ国町公共交通体制について

▼福原 賢孝 議員

実証を含めたデマンドバスの運行を開始できるよう準備を進めている

▼工藤町長

の導入に伴う必要経費を新年度予算案に計上し、関係予算の成立後に公募型プロポーザルを実施し、令和7年度中に実証を含めたデマンドバスの運行を開始できるよう準備を進めています。また、スクールバスについては、この取り組みに先駆けて新学期開始以降、小学生と中学生の混乗による登校便の運行を開始する予定です。

所への建設の可能性は低いものと推測されます。
③ゾーニングマップ作成に伴う必要経費を新年度予算案に計上。財源は環境省の補助事業の活用を見込んでいます。

答弁

答弁

答弁

答弁

管理の状況について。

るのか。

得ない。

答
弁

①②については、簡易水道事業を運営していく上で、水道料金収入と同額以上の他会計補助金等が必要な状況で、すべてを水道料金収入で賄うとした場合には、2倍以上に引き上げる必要が生じます。

将来的な水道料金の値上げも視野に入れざるを得ませんが、慎重な検討が必要であると考えています。
③主管路系統のマンホール点検を数年にわたり実施し、道路の地盤沈下につながるような異常は確認されています。

角花水道課長

一般会計から簡易水道事業に繰り入れする金額により、料金体系を維持できていますが、一般会計との兼ね合いもあり、将来的に料金の値上げを考えなければならない。

足田副町長

将来的な水道料金の値上げも視野に入れざるを得ませんが、慎重な検討が必要であると考えています。
③主管路系統のマンホール点検を数年にわたり実施し、道路の地盤沈下につながるような異常は確認されています。

再々質問

下水管の一般的な耐用年数は50年と言われ、町で最も古い下水管は何十年くらい経過しているのか。また、老朽化対策などは大丈夫なのか。

角花水道課長

下水道事業は、平成14年度に供用開始され約23年が経過し、耐用年数の半分にも満たないことがありますので、出来るだけ水道料金は値上げしないように考えますが、将来的には検討せざるを

①白飯は、今年7月で保存期間が終わり、ミネラルウォーターなどは、あと3年間の保存期間がありますが、どういう処理の仕方が適切なのか。
②保存期間が過ぎた場合、町からまた配布されるのか。

非常食は、いつ頃配布されるのか。また、簡易ベッドの配布計画について伺います。

佐藤総務課長

食料品は、保存期限を把握していますので、活用の目途がなければ役場の方に戻してもらい、新たなものを配布します。

答
弁

①食品ロス削減の観点から、町内会で開催する防災訓練などで、参加者に配布するなどの活用を進めさせていただきたい。
②町で新たに非常食等を提供いたします。
③簡易ベッドの保管には相当なスペースを要し、全ての避難所に配備することは困難であると考えるが、ある程度の数量が確保できた段階で、保管スペースのある避難所へ順次配布します。

再々質問

新たな備蓄品の配付はあるのか。

佐藤総務課長

この先3年、5年を考えた場合、現在の水道料金を維持できるのか。それとも、値上げをせざるを得ない状況がやってく

質問

再質問

防災訓練などで参加者へ配布
段ボールベッドは避難所へ順次配布

▼工藤町長

この先3年、5年を考えた場合、現在の水道料金を維持できるのか。それとも、値上げをせざる

を得ない状況がやってくる

町より各町内会に配布されてきた災害備蓄品について、伺います。

当する奨励金を支給などして人材の確保をしてはいかがか。

老後も安心して暮らせる町をつくるため、町は人材確保のために積極的に関与すべきだと思います。

上ノ国高校の卒業生の就職先を見ますと、町外の介護事業所へ就職する方がいますが、積極的に関わりを持ち、人材を確保すべきでは。

畠山保健福祉課長

管内の高校を卒業後、介護福祉学校に進学するケースは1件あるかないかという現状でした。

離職した潜在介護職員を確保するという点では、労働環境による部分も大きいので、事業所も職員を雇うだけではなく、長く勤めてもらう部分も専門の講師を呼んで取り組んでいます。

10年前は介護の施設に

入るのに待機者が多く、なかなか入りづらいイメージだと思いますが、要

介護認定者数が減っている現状から、施設の方には入りやすくなっていますが、医療の方とも連携を取り、町民が老後安心づくりの維持に努めたい。

再々質問

人材確保については、

施設の方とともに関わりを持ち、特に上ノ国高校については、町で支援している学校ですので、介護事業所へ就職希望のかたには関わりを持ち、積極的に人材を確保するような方策を考えたい

畠山保健福祉課長

上ノ国高校に関しても改めて考えさせられ、介護が受けられる状況が停滞しないように、介護を

必要とする人と提供する側のバランスも十分に考

慮して考えていただきたい。

花沢公園のパブリックコメントの集計結果は

▼岩田 靖議員

より良い公園整備に向けて検討を進める

▼工藤町長

心に伝えます。



岩田 靖 議員

質問

花沢公園再整備計画に関するパブリックコメントの募集が行われ、寄せられた意見はどのように反映される考え方のか。

内容になっているのか。また、町民からの意見を町としてどのように反映させる考え方のか。

上ノ国高校に関しては、改めて考えさせられ、介護が受けられる状況が停滞しないように、介護を

答弁

全体の回答数は165件でした。各項目について、回答が多かった意見を中心

設については、「小中学生用の遊具」との意見が130件で最も多い。

自由回答の主なものとして、「遊具の充実を望むもの」が27件、「公園の再整備自体に期待するもの」が21件、「懸念点を指摘するもの」が20件となっています。

今回の結果を踏まえ、

企画立案検討委員会において整備内容を整理し、基本計画を策定する予定となつており、寄せられた貴重な意見を大切にしながら、より良い公園整備に向けて検討を進めます。

公園の利用目的については、「遊び・子どもの遊びの付き添い」が90件で最多。

公園に期待する役割については、「子どもの遊び場」としての役割を期待する意見が137件で最多。

再質問

私が資料を持って保育所や小学校を回り先生方に説明した中で、募集していることを知らなかつたや、募集期間が短いという意見が多かつたが、

パブリックコメントを行う上で、どのような周知

必要とする人と提供する側のバランスも十分に考

慮して考えていただきたい。

設については、「小中学生用の遊具」との意見が130件で最も多い。

の仕方をしたのか詳しく述べていただきたい。

濱塚施設課長

周知の仕方について、広報やホームページに載せ、小学校や中学校に声を掛けたり、町内会にも周知した結果165件という、今までこれがだけの意見が集まったパブリックコメントはなかなかたと思いますので、周知としては十分だったと考えています。



はなだ 花田 えいいち 英一 議員

質問

公園を整備していく上で意見があまり出なくて整備するということは、自身も懸念しています。意見を聞きに行ったりする努力は個人的にはさせていただいきたいと思いますが、パブリックコメントの募集期間も終わり、公園の方向性を説明する機会があるのか。また、他の意見を聞く機

再々質問

公園を整備していく上で意見があまり出なくて整備するということは、自身も懸念しています。意見を聞きに行ったり、意見が集まつたパブリックコメントはなかなかたと思いますので、周知としては十分だったと考えています。

濱塚施設課長

パブリックコメントの意見を取り入れ検討委員会の中で協議し、その結果を公表したいと考えています。

また、公表した中で意見が出てくると思います

会があるのか伺います。

が、岩田議員のように回って歩いていろいろな意見を聞いてくれるのであれば、来年度は詳細な設計を行うことになりますが、多少の修正は出来るものと思っていますので、最終的な計画を策定したいと考えています。

が、岩田議員のように回って歩いていろいろな意見を聞いてくれるのであれば、来年度は詳細な設計を行うことになりますが、多少の修正は出来るものと思っていますので、最終的な計画を策定したいと考えています。

また、その活動が新聞記事などで紹介され、数件の問い合わせがあり、件の中の一件では、売却や賃貸又は解体などの選択肢について所有者の意向を確認しながら、専門的な意見でアドバイスを行い、今後の計画やスケジュールを提案しながら対応を進めています。

が、岩田議員のように回って歩いていろいろな意見を聞いてくれるのであれば、来年度は詳細な設計を行うことになりますが、多少の修正は出来るものと思っていますので、最終的な計画を策定したいと考えています。

空き家対策について

▼花田 英一 議員

所有者の意向を確認しながら進めたい

▼工藤町長

して活動していると思いまが、現在の取り組み状況について、伺います。

答弁

空き家の有効活用に向

けて、空き家情報の収集に努めるとともに、本町の遊休不動産マップをインターネット上に作成し、町職員との情報共有を図っています。

その所有者は、空き家を売つて欲しいとか、何かに活用して欲しいなど の要望はあるのか

佐藤総務課長

所有者は売買したいと考へているそうで、農地も付随していることから

農地の処理方法についてアドバイスを行い、不動産の専門的な方なので、不動産の価格を算定した上で、この金額で売買してはどうかと提案し進めている状況です。

「ナチュラル・ビズ・スタイル」実施 (年間を通した働きやすい服装)

脱炭素社会の実現に向けて、環境に配慮した取り組みの一環として、気象状況や執務環境等に応じ、通年でノーネクタイ等の快適で働きやすい服装で会議等（本会議、委員会など）に出席するナチュラル・ビズ・スタイルを実施します。



再々質問

空き家を売買したい方がたくさんいた場合、町として公表する予定はあるのか。

また、洋上風力が事業化して、町が空き家を買上げ作業員の宿泊施設にする考えはあるか。

移住・定住について

▼花田 英一 議員

**空き家対策と連携し、
移住・定住支援に取り組みたい**

▼工藤町長

情報の公開について
は、空き家を売りたい、
貸したい人に情報を公開
する意向があれば、空き
家登録などして公表する
方法があると思います
が、所有者の意向に沿つ
たやり方で進めたい。

答弁

人口減少に伴い、全国
の各自治体で移住・定住
の施策が実施されていま
すが、上ノ国町において
も同様の取り組みが進め
られています。そこで、
昨年の取り組み状況と成
果について、伺います。

作業員の宿泊などを見
込んだ空き家対策について
は、買い上げは考えて
いません。所有者が賃貸
をしたい場合は、国の補
助制度を活用しながら空
き家を整備し、洋上風力
の建設から維持管理に至
るまで、作業員が多数町
内に入ってくると思いま

すので、そのような形で
進めたい。

再々質問

空き家を売買したい方
がたくさんいた場合、町
として公表する予定はあ
るのか。

また、洋上風力が事業
化して、町が空き家を買
上げ作業員の宿泊施設
にする考えはあるか。

再質問

湯ノ岱のサテライトオ
フィスには、都会からた
くさんの人が来て活用し
ている状況ですが、上ノ
国町をPRするような活
動をしていますか。

▼谷口政策推進室長

近年、サテライトオフ
イスの利用者は、工事関
係者の宿泊が主になつて
いる現状で、工事関係者
に移住定住のPRははじ
らい面があります。

今後は、洋上風力絡み
の関係人口を考えると、
サテライトオフィスを仮
の事務所などに使えるよ
うなPRは引き続き行
い、移住定住の部分では
空き家を有効活用し、定
住に繋がる取り組みを今
後より一層進めたい。

▼谷口政策推進室長

昨日の取り組みは、テ
レビ局がワイナリーのP
Rの一環で協力していた
だきました。

インフルエンサーがS
NSやインターネットを
使って情報発信をすると
いった部分もまた活用し
ながら、今の移住定住に
繋がるような取り組みを
していきたいと思いま
す。

再々質問

ハード面では、子ども
のワインを飲んで美味
しいよと言っているテレ
リーも含めたサテライト
オフィスは、風車の従業
員が泊まっているといつ
だけの話ではなく、何
かの手立てをしても移住
定住するような状況には
ならないものですから、
私たち議員もPRを含め
て活動しなければなりま
せんが、特に行政側も一
生懸命やつていただきた
い。

再々質問

湯ノ岱のワインリーラー
で、若い人方が上ノ
国町をPRするような活
動をしていますか。

予算審査特別委員会

令和7年度各会計予算額

令和7年度一般会計及び特別会計の予算案は、第1回定例会の会期中に設置された「予算審査特別委員会（花田英一委員長）」に付託され、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。



予算審査特別委員長 花田 英一

会計名	令和7年度当初	令和6年度当初	比較
一般会計	7,299,977	6,405,505	894,472
国民健康保険事業特別会計	629,753	637,922	△8,169
介護保険事業特別会計 介護保険事業勘定 介護サービス事業勘定	766,957 6,120	761,343 6,000	5,614 120
後期高齢者医療事業特別会計	92,734	88,959	3,775
簡易水道事業会計 収益的支出 資本的支出	175,539 150,740	197,749 156,337	△22,210 △5,597
下水道事業会計 収益的支出 資本的支出	286,991 213,903	277,423 176,096	9,568 37,807
合計	9,622,714	8,707,334	915,380

予算審査の主な質疑

一般会計歳出の質疑

高谷総務課統括主幹

まちづくり対策費 ふるさと寄附金事業

なければなりません。想定では自宅から行きたい所までを計画しています。

○川島委員 財産管理費
町内会集会施設整備事業
大崎地区集会施設は築50年ぐらいが経過し、冬場は水管の水落で非常に苦労しているとのことで、今回の設計業務委託の中には、配管などの工事も含まれているのか。

○高谷総務課統括主幹
工、観光、建設協会等の会長、教育委員、住民代表など数名ども北海道新聞社やJTBに参加していただきています。

○福原委員 ふるさと納税の品目にについて、新しい商品を開発しなければならないと思っていますが、いろいろな意見聴取をして、他の事例を参考にし、日々勉強していると思いますが、その点についての考

●太田垣施設課統括主幹
実施設計は4月から発注し、工事範囲は屋根、外観、一部内装、配管も含まれ、実施設計を基に9月頃に工事の発注を行う予定です。

○川島委員 企画費
デマンドバス運行事業
今年は海岸線も運行されると思いますが、以前

の実証実験のときは、大留の複合施設で降り歩いて買い物をして、荷物を持って戻らなくてはならなかつたが、改善されているのか。

●菊地政策推進室長補佐
上ノ国町内の返礼品について、アスパラガスが主力で海産物等も人気ですが、品薄や人出不足もあり伸び悩んでいます。

ふるさと納税の制度も変わっていく部分があり、制度に合うような形で返礼品を開発していくかなければと考えていますが、

○仲澤委員 企画費
地域創生推進事業
構成メンバーについて。
地域創生有識者会議の

●菊地政策推進室長補佐
自宅付近から目的地まで届けるような形で計画をしていますが、実施する事業者と調整していくか

ふるさと納税の制度も変わっていく部分があり、制度に合うような形で返礼品を開発していくかなければと考えていますが、

外部の方からの意見も参考にしながら、返礼品をどんどん増やしていきた。

まちづくり対策費
空き家対策事業

○岩田委員

特定空き家の今現在の件数と、特定空き家に認定され、ずっと放置されている空き家に対して、支障物件として町が予算を出して壊すことになるのか。

●八木橋施設課長補佐

認定件数は16件となっ

ていますが、解体までの順序があり、指導、勧告、命令、最終的には代執行という手続きになりますが、現時点では連絡の付く方が多いので、まずは指導、次に勧告といった手順で進んでいこうと考えています。

○小間委員

本人と連絡が取れない

場合、空き家はそのままの状態になるのか。

●杉野財政課長補佐

例年どおり2件程度の引き継ぎを考えており、町外に転出し交渉の機会

がなく、財産をこちらの方で発見できない方を、選定している状況です。

老人福祉費
老人クラブ連合会助成事業

○小間委員

老人クラブ連合会の補助金は、一人に対しても

住所までは調べる」とができます。

賦課徴収費
賦課徴収事務事業

○仲澤委員

コンビニ収納サービスは、どれくらいの利用がありますか。

●杉野財政課長補佐

令和5年度の実績では、町民税、固定資産税、軽自動車税でおよそ4500件ほどの利用状況となっています。

○片石委員

渡島・檜山地方税滞納整理機構に、新年度は何件の滞納者を引き継ぎます

年より増えていますが、対象者はどのくらいいるのか。

●農業振興費
新規導入作物種子・種苗代助成事業

例年どおり2件程度の引き継ぎを考えており、町外に転出し交渉の機会

がなく、財産をこちらの方で発見できない方を、選定している状況です。

老人福祉費
老人クラブ連合会助成事業

○小間委員

高収益作物と呼ばれる野菜を想定しています。

●松倉住民課統括主幹

令和7年度の対象児童数は316名で、対象年

齢が高校生まで拡大され70名ほど増加し、子ども

3人目が1万5千円から3万円に増額となり、例

年と比較して1.5倍の予算額となっています。

林業振興費
林業振興事業

○川島委員

森林環境譲与税基金積

立金は、今後どのような活用を考えているのか。

●労働諸費
労働対策事業

○仲澤委員

会福祉協議会が窓口となり、上ノ国町に12の老人クラブがあり、道からも補助が出ます。市町村の負担分と特別事業分などを負担したものを見算計上しています。

●石山農林課長補佐

若年者等雇用奨励助成金の目的と、助成を受け途中退職された人はいるのか。

●野崎水産商工課統括主幹

途中退職された方が実際にいましたが、各企業における若年者の雇用を促し、町内への定住も支援していきたいという考え方で助成しています。

年より増えていますが、対象者はどのくらいいるのか。

○片石委員

想定しているのはどう

いう種類の作物ですか。

●石山農林課長補佐

高収益作物と呼ばれる野菜を想定しています。

●農業振興費
新規導入作物種子・種苗代助成事業

年より増えていますが、対象者はどのくらいいるのか。

○川島委員

想定しているのはどう

いう種類の作物ですか。

老人福祉費
老人クラブ連合会助成事業

○小間委員

年より増えていますが、対象者はどのくらいいるのか。

●労働諸費
労働対策事業

○仲澤委員

年より増えていますが、対象者はどのくらいいるのか。

●石山農林課長補佐

年より増えていますが、対象者はどのくらいいるのか。

●農業振興費
新規導入作物種子・種苗代助成事業

年より増えていますが、対象者はどのくらいいるのか。

●石山農林課長補佐

**水産業振興費
水産物実証実験対策事業**

○仲澤委員

新たにサーモン養殖事業を始めようとしていると認識していますが、ソウやイカ漁が低迷する状況なので、新たに挑戦するのか。

また、漁業者のためになるような大胆な政策を、我々もお互いに知恵を絞りながら真剣に取組んで、私も微力ながら協力したいと思います。

●薄田水産商工課長補佐
新たな振興と漁業経営の安定化を図るため、サーモン養殖の事業化に向けて実証実験をするための事業です。

○川島委員

サーモンの養殖事業に関して、ひやま漁協などとお互いに経験を積みながら、このサーモンの養殖事業を成功させていた

だきたい。

●竹内水産商工課長

回遊魚の減少や温暖化による海水温の上昇もあり、増殖事業に取り組んでいかなければならぬと思いますので、技術的な見知はまだまだあります。

せんが、ひやま漁協と協力しながら成功させたいと思います。

●片石委員
沿岸漁業振興特別対策事業費
沿岸漁業振興特別対策事業
事業費補助金の内訳について。

バカ貝やナマコの放流追跡調査、さけ種苗生産施設運営費に対する補助、てつくり祭りの事業補助、

ニシンの放流に関わる事業になっています。

○小間委員

ワインリーヘの補助金は、何年まで続けるのか。

**商工業振興費
ワイナリー及びサテライトオフィス事業**

●菊地政策推進室長補佐

3年間経過したあと2年間延長して来年度まで、地方創生交付金を活用して補助する予定です。

○福原委員

ワインリーフィー関係で、地場産のブドウを使っていないとすると、いつ頃地場産のものを使えるようになるのか。

地場産のものを使わないと上ノ国町ワインといつても、説得力がない。

●菊地政策推進室長補佐

今年醸造できる分が収穫できるかは、収穫定期代を算定基礎とし8割を補助しています。

●笠谷教育委員会事務局長

町内の生徒と同様に、定期代を算定基礎とし8割を補助しています。

も言えませんが、道南のワイン関係も今盛り上がりになかつたワイン文化を使いながら、上ノ国町をPRするきっかけとして、活用していきたい。

○川島委員

上ノ国高校への通学費助成について、江差や厚沢部から来られる方の交通費などの補助はどうなっていますか。

○川島委員

また、上ノ国高校については、私たちのできるところで援助もしながら、存続させなければならぬという部分を踏まえて、今後の方向性や展望などを含めて意見をいただきたい。

上ノ国高校の存続と、道外からの生徒を受け入れることで、既存の生徒にいい意味での刺激を加え、地域にもいい影響をします。



上ノ国高等学校

新年度から地域未来留学に参加し、道外の都市圏からも上ノ国高校を希望する生徒の受け入れをする事業を展開する予定で、9年度からの受け入れを目標とし、7年度、8年度については、都市圏の合同説明会へ参加します。

○川島委員

反映させたいということです、今年度から取り組みます。

○川島委員

道外からの生徒を受け入れることで、既存の生徒にいい意味での刺激を加え、地域にもいい影響をします。

委員会活動

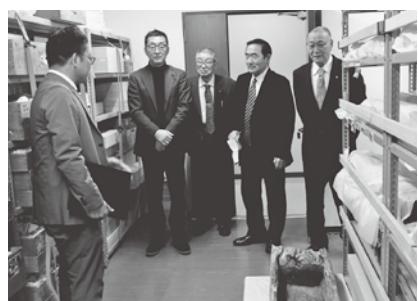
閉会中の活動の一つとして、各委員会では所管（所掌）事務調査を行っています。その調査事務の結果報告がありましたので概要を掲載します。

総務文教常任委員会

文化財管理施設の管理運営に関すること
（文化財管理施設の管理状況と整備計画について）

調査日 12月18日

本町には、勝山館跡ガイダンス施設、旧笠浪家住宅、上之国館調査整備センターの三つの文化財保存活用施設がありますが、展示の更新や保管環境の改善が課題となっています。勝山館跡ガイダンス施設と旧笠浪家住宅の米蔵・文庫蔵では公開活用が行われていますが、展示内容が近年の調査成果や多言語化に対応しておらず、外国人や子どもとの理解が難しい状況です。また、900点余りの重要な文化財が公開されず、廃校を改修した調



出土品の説明を受ける委員

り、本町の貴重な歴史文化の発信と地域活性化が期待されます。

産業福祉常任委員会

老人福祉施設に関すること
（特別養護老人ホームかみのくに荘の運営状況について）

調査日 2月5日

査整備センターでは老朽化や火災リスクが問題視されています。こうした課題を解決するため、町では文化財施設の整備を第6次上ノ国町総合計画に位置付け、令和3年に史跡上之国館跡整備活用基本計画を策定しました。三館のネットワーク拠点と展示・保管機能を備えたミュージアム建設を盛り込み、令和7年度には基本計画の策定を予定しています。委員から求められる意見が出されており、今後の計画実現によ



理事長と施設長から委員へ説明がされた

始し、多様な福祉サービスを提供しています。

当施設の入所定員は50名で、町内から46名、町外から4名が入居しています。原則として要介護3以上の入居基準のため、現在では待機者はほとんどおらず、減少傾向にあります。が、将来的に急速な人口減により利用者の大幅な減少が予測されており、施設の運営に与える影響は避けられないと考えられます。

令和4年度に、内外装



や電気・機械設備の大規模改修工事を実施し、老朽化の問題は解消に向かいました。しかし、全国的な介護人材不足の影響は本施設にも及んでおり、人材確保が喫緊の課題となっています。

当施設は、40年以上にわたり高齢者福祉の拠点として地域に貢献し、雇用の創出にも寄与してきました。

今後も、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護人材の確保・定着を含めた包括的な福祉施策の推進が求められます。

総務文教常任委員会

調査報告 1月21日

議会広報発行に関すること

2月発行の議会広報については、原案のとおり発行することに決定しました。



議会運営委員会

調査報告 2月28日

議会の運営と議長の諮問事項

第1回定例会の会期を3月4日から6日の3日間とし、議事日程を決定了しました。



また、令和7年度各会計予算については、5日の1日間、予算審査特別委員会を設置し、付託のうえ審査することに決定しました。

議会の動き

1月	2月	3月
15日 檜山広域行政組合議会第1回臨時会（江差町）	1日 上ノ国高等学校卒業式	1日 上ノ国高等学校卒業式
21日 総務文教常任委員会日会	21日 全員協議会	4日 第1回定例会（1日目）
28日 檜山町村議會議長会議（江差町）	28日 産業福祉常任委員会	5日 予算審査特別委員会（2日目）
13日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合組合議会定例会（札幌市）	7日 北海道後期高齢者医療広域連合議会	7日 教育・文化・スポーツ表彰式
13日 産業福祉常任委員会	5日 第1回広域連合議会定例会（札幌市）	14日 上ノ国中学校卒業式
13日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合組合議会定例会（札幌市）	13日 産業福祉常任委員会	14日 東京かみのくに会総会・懇親会（東京都）
13日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合組合議会定例会（札幌市）	24日 檜山広域行政組合議会定例会（江差町）	24日 南部桧山衛生処理組合議会定例会（江差町）
27日 議会運営委員会全員協議会	27日 議会運営委員会全員協議会（江差町）	24日 上ノ国町議会